## Java 基礎問題-02-02-06

以下のクラス図を参考にして従業員表を表すクラスを作成し てください。

1レコード分の情報を格納するクラスが Row です。

従業員番号は、「O の使用」「重複」は許されません。従業員表の中で一意に管理してください。

KadaiEmp6.java に main()メソッドを作成し動作を確認してください。

レコード(Row)

int empno String ename String job int sal

getter/setter

従業員表(Emp)

Row row Array intinsIndex

void insert(Row row)

int updateByEmpno( int empno, Row updateRow )

int deleteByEmpno(int empno)

Row[] selectAll()

NOW[] SEIECIAII()

int[] selectAllEmpno()

Row selectByPrimaryKey( int empno ) Row[] selectByName( String ename )

int selectMaxSal()

int selectRowCount()

#### ヒント

▼必要とされる知識 オブジェクトの配列の概念 オブジェクトの参照渡し オブジェクトの参照を返すメソッド

#### ▼考え方のポイント

各クラスの実装内容などは no006 パッケージに格納されている Java ファイルの Javadoc コメント(/\*\* \*/)に記載されていますので、そちらを参照し実装していきましょう。

・レコード削除時、後続に存在するレコードを前につめます。 例えば、以下従業員表(配列)から従業員 3 レコードを削除し ます。※削除する⇒null を代入する

rowArray[0]	従業員1
rowArray[1]	従業員2
rowArray[2]	従業員3
rowArray[3]	従業員4
rowArray[4]	従業員5

4 503	*** ***
rowArray[0]	従業員1
rowArray[1]	従業員2
Λ [Ο]	
rowArray[2]	null
rova (A rrova[O]	<sup>⟨¥</sup> ♥□ ₄
rowArray[3]	従業員4
rov4 (A rrov ([4]	ᄽᄴᄆᄼ
rowArray[4]	従業員5

後続の従業員 4、5 レコードは 従業員 3 レコードが抜けた分、 前に詰めます。右のようなイメージ です。

rowArray[0]	従業員1
rowArray[1]	従業員2
rowArray[2]	従業員4
rowArray[3]	従業員5
rowArray[4]	null

\*selectAll()や selectAllEmpno()は null を除いた有効なレコードのみを配列にまとめて返すようにします。

例えば右の従業員表(配列)は 最大格納数5の内3レコード 存在しています。

rowArray[0]	従業員1
rowArray[1]	従業員2
rowArray[2]	従業員4
rowArray[3]	null
rowArray[4]	null

selectAll()メソッドを実行すると 右のような配列が返却される イメージです。

rowArray[0]	従業員1
rowArray[1]	従業員2
rowArray[2]	従業員4

(最大格納数3の配列を作成)

# 実行結果 ※数値と記号は半角を利用してください。

### ※以下実行結果の通りコンソールに出力されるように実装しましょう。

従業員表 こレコードを追加する(insert (Row row) メソッド)
すみすさんの一静め、一行挿入されました
ありすさんの情報が一行挿入されました
主キーが重なっているので挿入できません
従業員番号につけ挿入できません
けんさんの情報が一行挿入されました
めあり一さんの情報が一行挿入されました
けんさんの情報が一行挿入されました
もう挿入できません
===== 従業員表にレコードを追加しました(insert (Row row) メソッド) ======
今の光業員表登録件数を表示開始(selectRowCount()メソッド)
今従業員表」コお件登録されています。
===== 今の従業員表登録件数を表示終了(selectRowCount()メソッド) ======
===== 指定した従業員番号に該当するレコードを削除開始(deleteByEmpno(int empno)メソッド) ======
<b>削除された行</b> む
<b>削除された</b> 行は
===== 指定した従業員番号に該当するレコードを削除終了(deleteByEmpno(int empno)メソッド) ======
今の光業員表登録件数を表示開始(selectRowCount()メソッド)
今従業員表コお件登録されています。
今の光業員表登録件数を表示終了(selectRowCount()メソッド)
====== 指定した従業員番号に該当するレコードを更新開始(updateByEmpno(int empno, Row updateRow)メソッド) ======
更新され <i>た</i> 行む
更新が数は
====== 指定した従業員番号に該当するレコードを更新終了(updateByEmpno(int empno, Row updateRow)メソッド) ======

===== 従業員名で検索罪始(selectByName(String ename)メソッド) ======
従業員番号: 3333, 名前: けん, 役職: 一般社員
従業員 <del>番号</del> : 5555, 名前: けん, 役職:派遣社員
===== 従業員名で検索終了(selectByName(String ename)メソッド) ======
一番高、Vs涂料18400
   ===== 指定した従業員番号に当てはまるレコート検索開始(selectByPrimaryKey(int.empno)メソッド) ======
   従業員番号: 3333, 名前 : けん, 役職:一般社員
   ===== 指定した従業員番号に当てはまるレコート検索終了(selectByPrimaryKey(int empno)メソッド) ======
従業員表 < 登録されている全レコード取得罪始(selectAll() メソッド)
従業員番号:1111, 名前: すみす, 役職:一般1員
従 <del>業員番号</del> :2222, 名前 : NEWありす, 役職: 受付係
従業員番号:3333, 名前: いん, 役職:一般土員
従業員番号: 5555, 名前: けん, 役職:派齢は
従業員表 <登録されている全レコード取得終了(selectAll()メソッド)
従業員表に登録されている全レコードの従業員番号 - 覧取得罪給(selectAllEmpno()メソッド)
1111
2222
3333
5555
   ====== 従業員表に登録されている全レコードの従業員番号―覧取得終了(selectAllEmpno()メソッド) =======

L